

## ◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(10歳代男性)ありました。症状は腹痛, 血便, 発熱です。感染地域は国外で, 感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は2例となりました。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(40歳代男性)あり, 症状は発熱, 咳, 肺炎, 菌血症です。感染地域は国内で, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は13例となりました。

- インフルエンザの定点当たり報告数が0.68(47例)となり, 流行の目安である1を下回りました。しかしながら新型コロナウイルス感染症をはじめ, 多くの感染症予防のために, 継続して手洗いとうがいを励行しましょう。

京都市では, インフルエンザや手洗いの方法のリーフレットやポスターを発行しています。リーフレットについては下記ホームページを御覧ください。

○「手洗いの方法」リーフレットは, 「こどもに多い感染症について」のページ内にリンクがあります(衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000197526.html>

○こどもの感染症(令和2年4月号)「てをあらおう! -すごろくしながら, ただしいてあらいをまなぼう! -」

(衛生環境研究所)

## ◆ 今週のトピックス:<梅毒>

京都市の2020年における梅毒の累積報告数は第13週までで16例となりました。梅毒の報告数は近年急速に増えており, 同時期としては一昨年と比較すると少ないものの, 昨年とほぼ同じペースで増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類: 結核 5例(肺結核 3例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 3例  
【1月以降の累積報告数 55例(肺結核 32例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 20例)うち喀痰塗抹陽性 14例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 13例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.68	47
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.79	77
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	57
	③ 突発性発しん	0.21	9
	④ 咽頭結膜熱	0.16	7
	④ 水痘	0.16	7
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

### 【次ページ以降の主な内容】

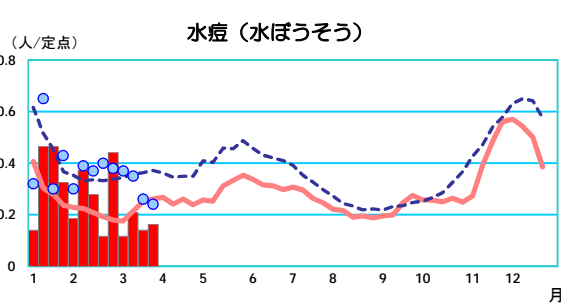
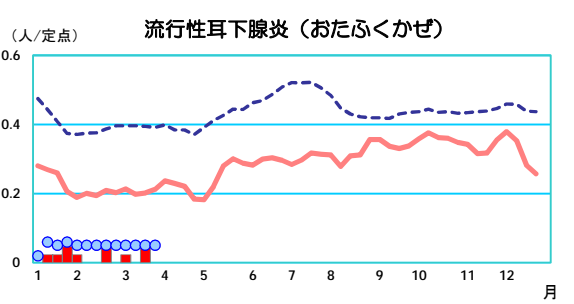
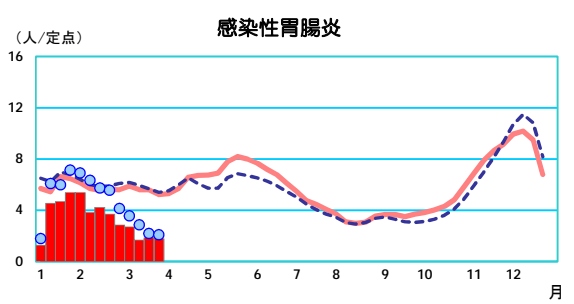
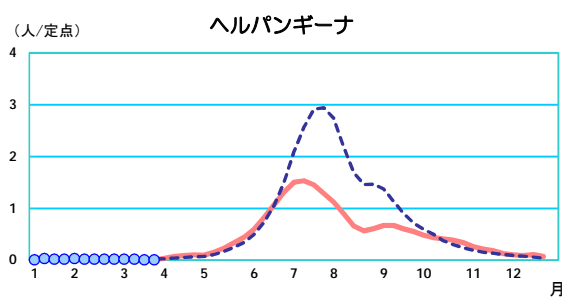
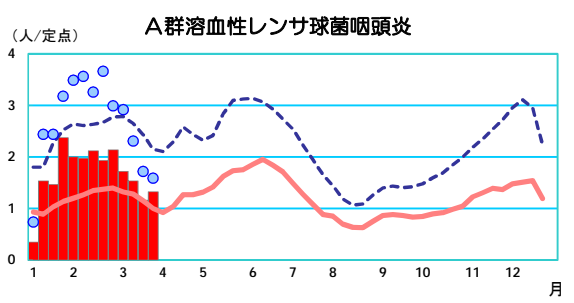
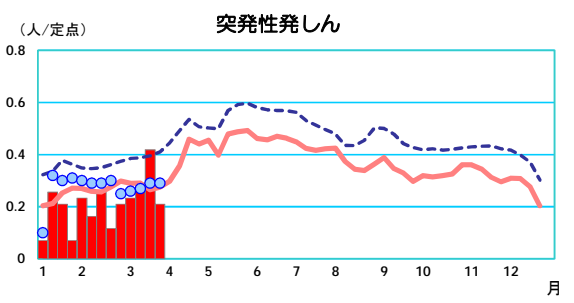
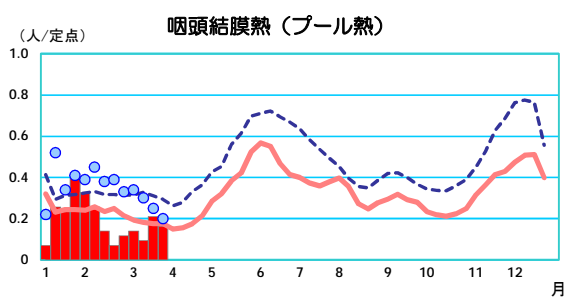
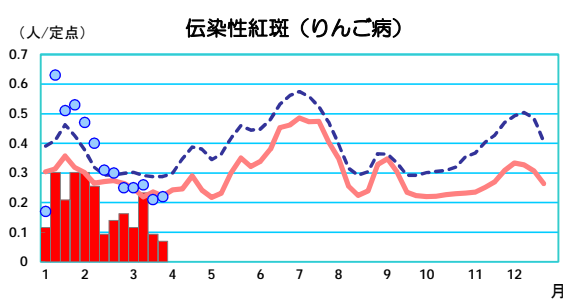
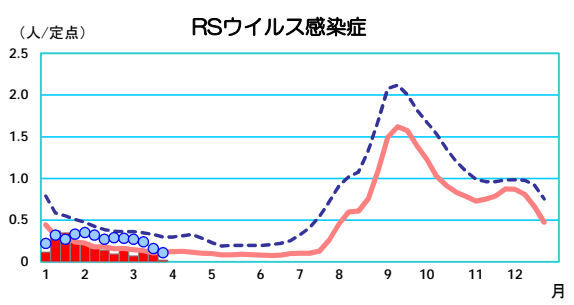
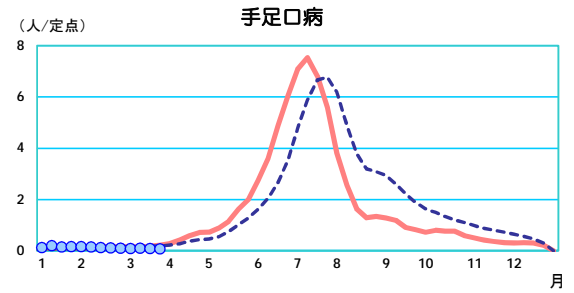
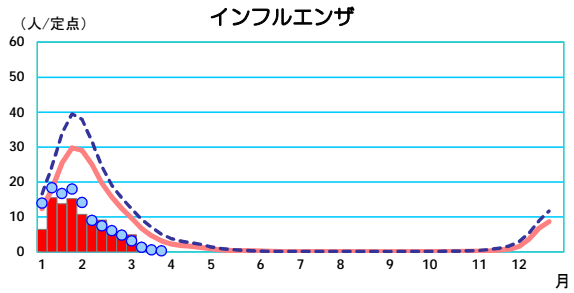
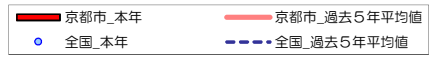
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス:<梅毒>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

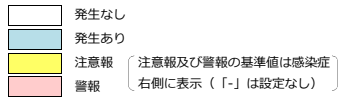
(注) 京都市のデータは, 2020年4月1日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

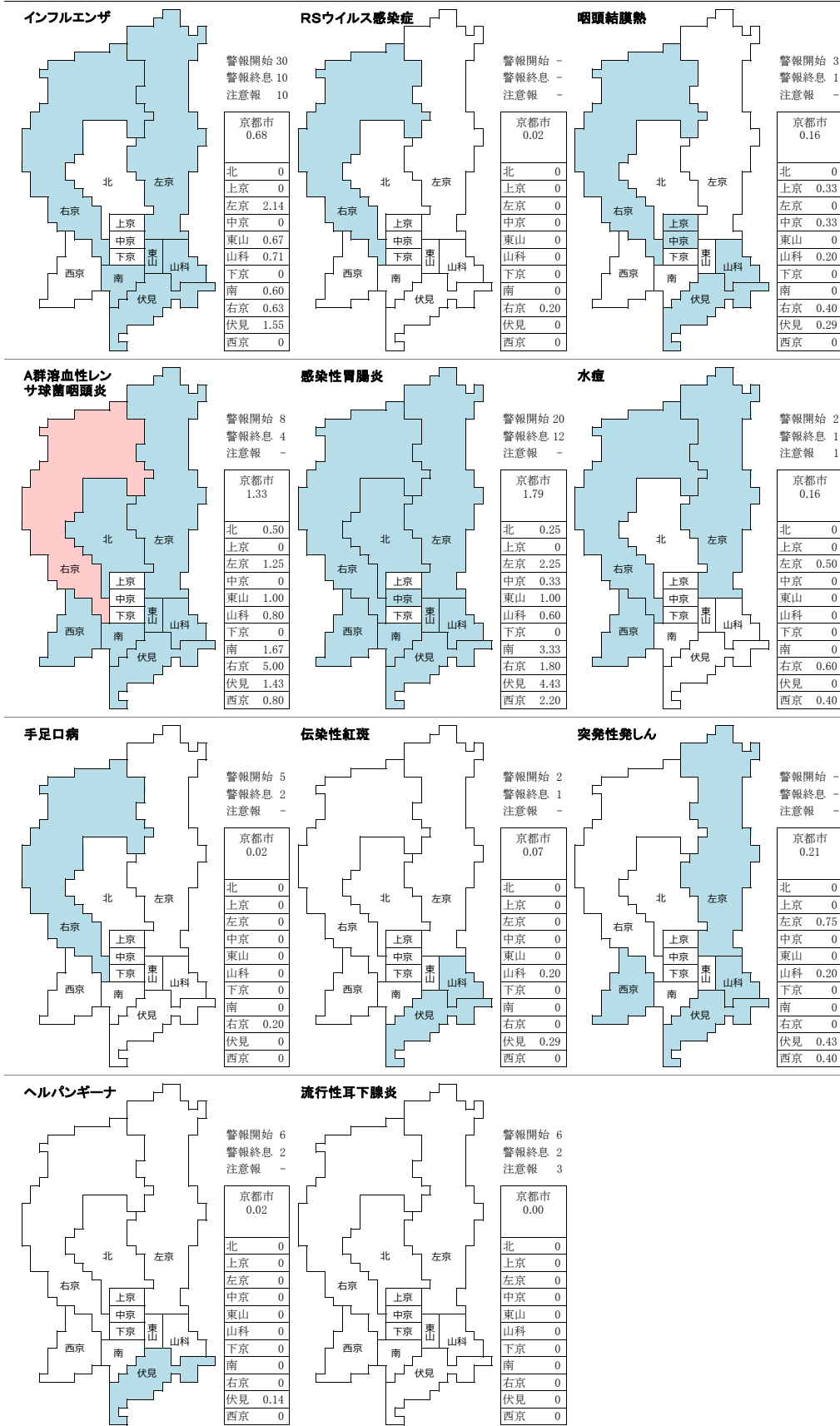
# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第13週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。  
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



### 第13週(3月23日～3月29日)トピックス: <梅毒>

京都市の2020年における梅毒の累積報告数は第13週までで16例となりました。梅毒の報告数は近年急速に増えており、同時期としては一昨年と比較すると少ないものの、昨年とほぼ同じペースで増加しています(図1)。全国では第13週までで1,297例の報告があり、昨年同時期1,498例及び一昨年同時期1,407例に比べてやや低いものの、依然として高い値で推移しています。

過去10年間の梅毒の推移をみると、京都市では2014年に10例を上回って以降、急速に報告数が増えています。2017年は71例、2018年及び2019年は若干減り、同数で66例となっています。全国では2013年に1,200例を超えてから増加傾向となり、京都市同様、ここ数年は急速に増加し、2018年は7,000例を超え、2019年はやや減少して6,639例でした。京都市及び全国で減少したものの、年次推移をみると、現在のところ減少傾向に転じたとは言いきれません(図2)。

全国の発生動向を、性別及び年齢階級別で10年間遡って比較すると、2010年から2019年にかけて、総数は10倍を超えました。男女比をみると、男性80%に対し女性が20%であったものが、2014年から女性の割合が年々増えて、2019年は男性66%、女性34%となりました。性別と年齢階級を合わせてみると、男性では30歳代と50歳代の割合が減少し、20歳以上の各年齢層の割合がほぼ同じになりました。一方、女性では、20歳代の割合が5%から18%と特に際立って増加しています(図3)。

梅毒急増の背景には、様々な要因があると言われてはいますが、不特定多数との性行為の増加も一因と見られています。報告数は医療機関を受診した患者に限られますので、自覚症状が少ない等で治療を受けておらず、他の人の感染源となる可能性のある人を含めると感染者数は更に多いと推測されます。梅毒は一度罹っても終生免疫は得られず、何度でも感染します。皮膚や粘膜に異常を感じた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

図1 京都市の月別累積報告数(2015年～2020年第13週)

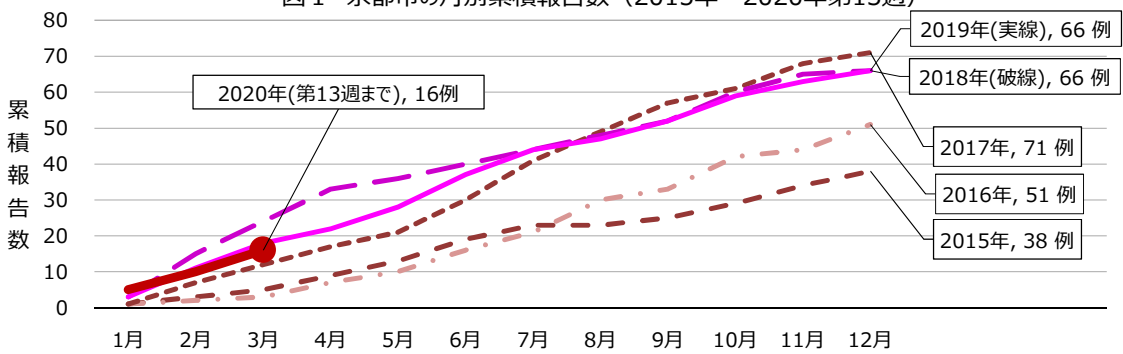


図2 京都市及び全国の報告総数 2010年～2019年

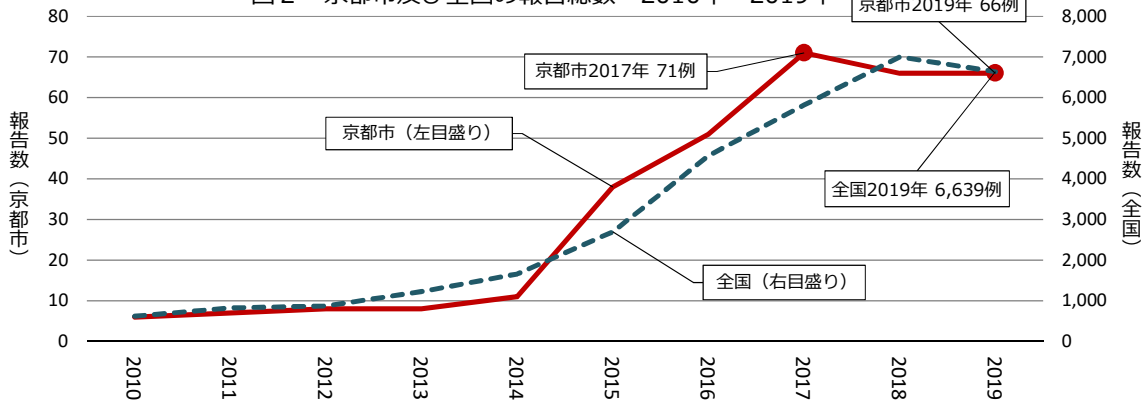
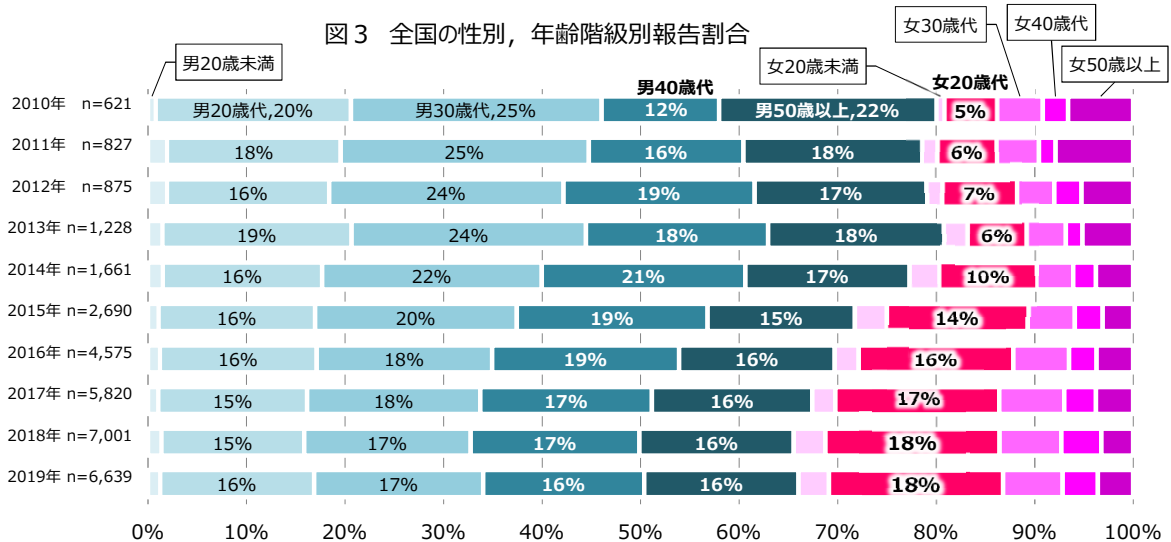


図3 全国の性別、年齢階級別報告割合



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第13週

疾病,行政区別報告数

2020年3月23日～2020年3月29日

データ入手日:2020年4月1日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	15	-	-	5	9	2	-	-	3	-	-	-	-					
中京	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	5	-	1	4	3	-	-	1	1	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	3	-	-	5	10	-	-	-	-	-	-	-	-					
右京	5	1	2	25	9	3	1	-	-	-	-	-	1					
伏見	17	-	2	10	31	-	-	2	3	1	-	-	-					
西京	-	-	-	4	11	2	-	-	2	-	-	-	-					
京都市計	47	1	7	57	77	7	1	3	9	1	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	2.14	-	-	1.25	2.25	0.50	-	-	0.75	-	-	-	-					
中京	-	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	-	-	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	0.71	-	0.20	0.80	0.60	-	-	0.20	0.20	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	0.60	-	-	1.67	3.33	-	-	-	-	-	-	-	-					
右京	0.63	0.20	0.40	5.00	1.80	0.60	0.20	-	-	-	-	-	1.00					
伏見	1.55	-	0.29	1.43	4.43	-	-	0.29	0.43	0.14	-	-	-					
西京	-	-	-	0.80	2.20	0.40	-	-	0.40	-	-	-	-					
京都市計	0.68	0.02	0.16	1.33	1.79	0.16	0.02	0.07	0.21	0.02	-	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第13週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年3月23日～2020年3月29日

データ入手日:2020年4月1日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	47	-	-	1	2	4	6	2	10	2	2	-	5	2	5	3	2	-	-	-	1
RSウイルス感染症	年齢3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		7	-	-	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		57	-	1	7	6	9	4	8	3	8	1	1	3	-	6	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		77	3	7	6	11	4	10	4	9	8	-	1	5	1	8	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	-	-	-	2	-	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		3	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	3	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.68	-	-	0.01	0.03	0.06	0.09	0.03	0.14	0.03	0.03	-	0.07	0.03	0.07	0.04	0.03	-	-	-	0.01
RSウイルス感染症	年齢3	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.16	-	-	0.07	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.33	-	0.02	0.16	0.14	0.21	0.09	0.19	0.07	0.19	0.02	0.02	0.07	-	0.14	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.79	0.07	0.16	0.14	0.26	0.09	0.23	0.09	0.21	0.19	-	0.02	0.12	0.02	0.19	-	-	-	-	-	-
水痘		0.16	-	-	-	-	0.05	-	0.02	0.02	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.07	-	-	-	-	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.21	-	0.07	0.12	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第13週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年4月1日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	439	364	337	155	73	47
RSウイルス感染症	4	7	3	5	5	1
咽頭結膜熱	3	5	6	4	9	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	92	74	66	50	57
感染性胃腸炎	159	123	116	72	80	77
水痘	5	19	5	9	6	7
手足口病	1	2	4	3	-	1
伝染性紅斑	6	7	5	10	4	3
突発性発しん	5	9	10	12	18	9
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	1	1
流行性耳下腺炎	2	-	1	-	2	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	1	-	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	709	628	561	337	248	211

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	6.36	5.28	4.88	2.25	1.06	0.68
RSウイルス感染症	0.09	0.16	0.07	0.12	0.12	0.02
咽頭結膜熱	0.07	0.12	0.14	0.09	0.21	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93	2.14	1.72	1.53	1.16	1.33
感染性胃腸炎	3.70	2.86	2.70	1.67	1.86	1.79
水痘	0.12	0.44	0.12	0.21	0.14	0.16
手足口病	0.02	0.05	0.09	0.07	-	0.02
伝染性紅斑	0.14	0.16	0.12	0.23	0.09	0.07
突発性発しん	0.12	0.21	0.23	0.28	0.42	0.21
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	0.05	-	0.02	-	0.05	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	-	0.10	-	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1.00	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	13.69	11.41	10.09	6.56	5.13	4.57

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。